

なく、栄養のバランスを考
えて規則正しく食べること
や、健康体をつくる上で食
事がいかに大切であるか、
子どもたち自身が自分の問
題として受けとめられるよ
う「給食だより」等で家庭
も含めて啓発し、学校給食
センターでは栄養士が学校
訪問をして栄養指導をして
います。

**食べ残しについては、食
育の出発点として考え、食
事ができることに感謝し、
大切に思う心を持った子ど
もたちに育ってほしいよう
満足して食べることができ
る献立の工夫を怠らず、安
全な給食の提供に努力して
いきます。**

問 八街駅北口地区公園整
備事業はどのようなものか。
市長 八街駅北側地区では、
2カ所の街区公園について
まちづくり総合支援事業で
整備していきます。

**駅前広場に隣接して整備
する1号街区公園は、駅前
広場、歩行者専用道路に対
してオープンスペースを確
保し、イベントや休憩など
多目的な利用に対応するほ
か、駅前広場と一体的な空
間形成を創出し、潤いを感じ
ることができるような公**

園にしたいと考えています。
地区の西側に整備する2号
街区公園は、子どもたちが
伸び伸びと遊べる芝生広場
を中心に遊具などを配置し、
地区に居住する方々や公共
各施設等を利用される方々
が利用しやすい公園として
整備したいと考えており、
来年度に2号街区公園の整
備を行う予定です。

問 組織見直しに伴う企画
課の強化について（企画推
進課の設置を）
市長 本年度の組織見直し
の中で企画課に関しては、
広報広聴の機能充実を図る
ため、企画課所管の広報係
を秘書課に統合するほか、
企画課企画係を企画行草班
に再編し、従来の企画部門
に加え、本年度の行財政改
革の取り組みを来年度以降
も積極的に推進していきま
す。

**さまざま要因による社
会構造の変化に伴い、行政
主導型から市民参加、市民
との協働によるまちづくり
が求められる中、企画部門
の充実は非常に重要と認識
していますので、新たな時
代に対応できる組織づくり
を進めていく上での検討事
項と考えています。**

問 県職員の派遣の継続の
考えはないか。
市長 平成17年度は土地改
良区への派遣職員を除き、
県からの職員派遣を受けな
いこととしました。なお、
今後も今まで派遣いただい
た職員の方々を軸として、
県との連携強化を進めるこ
とにより、市政運営をより
円滑に推進したいと考えて
います。

問 八街市土地の埋立て等
及び土砂等の規制に関する
条例について
市長 新しい条例は、3千
平方メートル以上の物件に
ついても、すべて市の事務
として取り扱うこととなり
ます。体制としては、現在
既に土砂埋立て等連絡協議
会という組織があり、その
中で関係各課の意見を埋立
ての計画の中に反映させ、
許可を出しています。また、
工事開始後の指導の際にも
担当課だけでなく、関係課
の職員を同行させ対応して
います。

問 八街市総合計画、第一
次基本計画の概要を伺う。
市長 基本計画に掲げる各
施設の基本的な方向は、市
民の意向や市の現状及び課
題を踏まえて策定したもの
で、計画期間は平成17年度
から21年度までの5年間と
し、計画期間内の歳出総額
を876億円と見込んでい
ます。

問 三位一体の改革が、八
街市総合計画、また、新年
度の政治姿勢の中にどのよ
うに反映されているか。
また、三位一体が活かさ
れる柔軟性ある計画になっ
ているのか。
市長 平成17年度予算編成

公明党

鯨井眞佐子
 京増 良男
 新宅 雅子
 川上 雄次

代表
質問
新宅 雅子

◆新年度の政治姿勢について

問 八街市総合計画、第一
次基本計画の概要を伺う。
市長 基本計画に掲げる各
施設の基本的な方向は、市
民の意向や市の現状及び課
題を踏まえて策定したもの
で、計画期間は平成17年度
から21年度までの5年間と
し、計画期間内の歳出総額
を876億円と見込んでい
ます。

問 借入れの影響を除
く実質的な公債費の前年比
較は、対前年度比2億4千
332万1千円、16・7%
の増です。これは平成13年
度に発行したクリーンセン
ターの建設に係る地方債の
元金償還が来年度から始ま
ることによるものです。

問 18年度以降も引き続き、
過年度に実施した大規模事
業に係る地方債の償還費が
増となるため、公債費が確
実に上昇すると見込まれる
ので、慎重な財政運営に努
めたいと考えています。

問 国・県の補助金を活用
することは非常に厳しい状
況になってきているが、自
主財源の効率的活用のため、
補助金利用の事業計画
は。

市長 平成17年度は、八街
中央中学校校舎改築事業、
まちづくり総合支援事業、
道路改良事業をはじめとす
る各種事業について国・県
の制度を活用することと
し、総額は国・県支出金合
計で23億1千797万3千
円、16年度と比較して
2.3%、5千278万円の増
です。各種事業の実施は、
引き続き国・県の動向を注
視しながら、積極的に補助
制度の活用を図り、限られ
た自主財源を有効に活用で
きるよう努めたいと考えて
います。

◆新年度の財政問題について
問 新年度予算における公
債比率を伺う。
市長 借り換えの影響を除
く実質的な公債費の前年比
較は、対前年度比2億4千
332万1千円、16・7%
の増です。これは平成13年
度に発行したクリーンセン
ターの建設に係る地方債の
元金償還が来年度から始ま
ることによるものです。

問 18年度以降も引き続き、
過年度に実施した大規模事
業に係る地方債の償還費が
増となるため、公債費が確
実に上昇すると見込まれる
ので、慎重な財政運営に努
めたいと考えています。

問 国・県の補助金を活用
することは非常に厳しい状
況になってきているが、自
主財源の効率的活用のため、
補助金利用の事業計画
は。

市長 平成17年度は、八街
中央中学校校舎改築事業、
まちづくり総合支援事業、
道路改良事業をはじめとす
る各種事業について国・県
の制度を活用することと
し、総額は国・県支出金合
計で23億1千797万3千
円、16年度と比較して
2.3%、5千278万円の増
です。各種事業の実施は、
引き続き国・県の動向を注
視しながら、積極的に補助
制度の活用を図り、限られ
た自主財源を有効に活用で
きるよう努めたいと考えて
います。

◆共同参画

問 男女共同参画基本計画
の進め方及び概要を伺う。
市長 新総合計画の中でも
5カ年の基本計画に男女共
同参画プランの策定と推進
を掲げ、平成17年度に市民
との協働による男女共同参
画プランの策定を進めるこ
ととしています。

問 男女共同参画基本計画
の進め方及び概要を伺う。
市長 新総合計画の中でも
5カ年の基本計画に男女共
同参画プランの策定と推進
を掲げ、平成17年度に市民
との協働による男女共同参
画プランの策定を進めるこ
ととしています。